

SaY Yes! SaY No!

共に創ろう。市民が主役の静岡市を。人と自然が共生する社会を。

静岡の未来を創っていくのは
私たち市民です。
より素晴らしい未来のために
正しいことにはYes!と言い、推進を。
間違っていることにはNo!を言い、断固闘う。
みんなが笑顔で暮らせる静岡市を
一緒に創りましょう。
市民のために、地球のために
学び、闘いつづける市会議員を選ぶのも
私たち市民です。
私たちの選択が
これからの静岡を創っていくのです。
未来のために、次世代のために
今、私たちに出来ることを考え、実践していきます。

まつや清

ぎよし



数字が語る、まつや清のヤルキ度!

46回 (2017年4月~)
*議会質問延べ回数

年4回行われる議会に毎回出席するのはもちろんのこと、
質問の回数も市議会ダントツ1位(皆勤賞も!)です。
*総括質問・質疑・討論の合計数

123時間 (2017年4月~)
街頭演説

暑い日も寒い日もほぼ毎週火曜日の朝、セノバ前で街頭
演説。通勤通学で行き交う皆さんに、国の動きと静岡市政
について話っています。ファンもいるとかいないとか。

365日 ほぼ毎日やっています
SNS/ブログで
発信!

地域の困りごと、市議会情報から国の政治の動き。時には
自身のマラソントレーニングや料理の話までテーマの幅の
広さが魅力です。

52年 四半世紀を超えた
市民活動への取り組み

1969年からはや52年! プレズにずっと市民活動に取り組
んできました。食の安全、自然環境、人権問題など。
市民活動はまつやの原点です。

「フォロー」「いいね」よろしくお願いします!

▼その他、まつや清の最新情報はこちらから▼

チャンネルまつや
(YouTube/動画配信)
始めました!



YouTube



静岡で活動している多彩な
人たちとの対談を配信中。
あの人からこんな話が聞け
るなんて!と一部で話題に!

ブログ 公式LINE Facebook



[まつや清の日記]で検索 ID:@718fsjgm



まつや がんばっています! まだこれからです。

まつや清 プロフィール



1951年 新潟県柏崎生まれ
1969年 静岡大学 入学
~市民活動を経て
1987年より 静岡市議会議員(3期)
*静岡県議会議員(1期)
国会議員政策秘書を経て
2009年より静岡市議会議員(現在3期目)

全国自治体議員立憲ネットワーク共同代表/南アルプス
スリニア市民ネット共同代表/福島子ども支援基金代
表/親子わくわくピクニック実行委員会共同代表(福島
の子どもたちのための保養事業)/浜岡原発本訴の会
原告/外国人のための無料健康相談と検診会実行委
員会 事務局次長/城北町内会顧問/和太鼓サークル
「座・鼓竜」会員/緑の党しずおか共同代表

市民活動は「まつや清」の原点です。主だった活動を紹介します。

- 親子わくわくピクニック実行委員会
(福島の子どものための保養事業10回実施)
- 外国人のための無料健康相談と検診会(年1回23年間)
*済生会病院、医師・医療関係者、通訳、一般ボランティア、弁護士などの協力
- ゴミゼロフェスタ
(市民によるリユース・物々交換市に毎回ボランティアとして参加)
- 地球ハウス学校
(多彩なゲスト講師と学び、対話する学習会 22回実施)

まつや清を応援する会・城北事務所 (代表:榎本信雄)
〒420-0881 静岡市葵区北安東4-22-5 ジュピター北安東204

電話 054-209-5677
FAX 054-209-5675

MAIL chikyu_house@yahoo.co.jp

HP <https://www.e-matsuya.com>



ブレない、まつや清が好きだ。

彼の周りには実に多岐にわたる人が集まってくる。それも、利害の絡まない仲間というより、同志である。環境、原子力、外国人、教育、文化芸術、公共など、様々な社会、地域課題に関わる人々である。年齢も職業も超えて。何故？それは、彼がどんな些細なことにも耳を傾け真剣に対応するからである。嘘をつかないからである。そんな政治家がもつと増えれば、この国はもつと豊かになるだろう。

利他の実践。そこが他の政治家には感じられない魅力だ。

体制に対して何でも賛成、あるいは何でも反対の立場をとる政治家は多いが、市民や社会、地球にとって良いことには賛成し、推進する、反面悪いと思われることには徹底的に立ち向かう。松谷清さんは、そんな数少ない政治家の1人である。そんな姿勢と、何に対しても貪欲に学ぼうとする衰えぬ情熱が好きだ。



甲賀 雅章
(Creator)

自転車のまち静岡を一緒に作りたい!
私は松谷議員が掲げている自転車が似合う街づくりに期待します！理由は私が自転車競技をやっているからです。
自転車マナーの改善、自転車が走りやすい環境作りによって、市民が自転車を活用し健康とエコに繋がります。松谷議員の支援宜しくお願いします。



増田 弘誠
(れんげ畑 職員)

子育て・家事の実践者、まつやさん！
子育て応援に期待しています。

イクメンなんて言葉がなかった30年以上前に、子育てしていたまつやさんはカッコ良かった。いつも全力投球なのは今も変わらない。ライフワークバランス実践の先駆者。尊敬します！これからも子育て世代の応援団長を期待します！



近藤 亜美
(Ami助産院 助産師)

ずっと市民と一緒に行動してきた姿勢が大好きです。
3・11以降、福島支援活動を松谷議員と一緒に継続しています。「自分達だけ、今だけ良ければいい。」ではなく、有言実行、長い経験と全国的な幅広いネットワークで、これからも市民と共に創る政治を期待します。



小笠原 学
(支援交流「虹っ子」代表)

若者と変わらない

「思考の柔軟さ、熱量の高さ」に驚き！

私は昨年の7月、陳情を通して初めて政治にきちんと関わりました。それまで政治に全く興味のなかった私がスムーズに足を踏み入れられたのは、松谷さんの初対面ときからのフレンドリーさと、真摯なサポートのおかげです。若者の夢の実現の為に同じ熱量を持って取り組んで下さる、若くて熱い議員さんだと思います。



高井 渚沙
(大学生)

環境問題にかかわり続けてきた仲間、頑張りましたよ。
最初の松谷選挙後に、牛乳パックの会でゴミや環境問題に関わり、今は生活クラブ生協の組合員として学習会を企画するほか、物語で自然に英語と親しむラポ・パーティーを主催。
アメリカ大統領選の年令をみたら、私たち、まだまだやれるね！まつやさん！



やまもと あやこ
(生活クラブ生協・組合員)

一途に問題追及する姿勢としぶとさが魅力です。

「曲がったキュウリの時代」をキャッチフレーズに、食の安全を訴え議員スタート。松谷清は夢中で問題にのめり込みよく学び、とことん追求する姿勢がいい！長いものに巻かれたい強さがいい！(歳とともに丸くなってきたけど、尖っていてもいいじゃない?) 八方美人より良いよ。



西島 朋子
(料理研究家)

活動の場は違っても目指す方向は同じだ！
「違う畑で仕事をしていても方向性は同じと思える人」自然素材のおもちゃを中心に売っていることや、エコバックを持ってきてお客様に言ったり...、そういう百町森の売り物や売り方って、松谷さんが市議会という世界で仕事をしていること、方向性は同じだ。なって私は常々思い、とても心強く思っています。



柿田 友広
(子どもの本とおもちゃ 百町森 店主)

権力にも負けない姿勢に力をもらってます！

松谷さんとは福島の子どものための保養事業「親子わくわくピクニック」などで一緒にしています。こども達の世代に負の遺産を背負わせないために、大人は今できる限りのことをすべきと思っています。松谷さんの行動力と、権力に忖度しない姿勢を応援しています。



京井 麻由
(野外保育ゆたか)

どんな人ともフラット(平等)に接する姿勢が魅力的です。
外国人の無料検診会のボランティア活動で一緒にさせてもらっています。笑顔がいいですね。いつもバワフルに活動していて圧倒されます。誰に対しても平等に接しているって、年齢の割にSNSもこなしている頼りがいがあります。静岡市議会に必要な方です。



原 華代
(大学教員)



実践1

白紙撤回。
ここにアリーナは要らないでしょう!



市民文化会館の建替えとアリーナ併設構想に対して、市民や専門家、議会や行政も巻き込んだ運動を展開しました。「公共空間を考える会」も発足し構想は白紙撤回されました。大規模改修の議論では北街道との回遊性や広場機能の充実のほか以下の提案もしています。

- 様々なサイズ、ジャンルの作品に対応できる制作スペースの確保。
- 中ホールと大ホールの間をぶち抜き表裏の概念を払拭。まちへ解放する。

- ぶち抜くことで確保された建ぺい率を使って、広場に制作スタジオの設置。
- VRやARIに代表される新しい映像表現に伴う舞台芸術表現の進化に対応できる設備設置。
- アーティストの滞在空間(レジデンス)の配置。

実践2

専用レーンを増やす。
安全な自転車のまち静岡の実現。



自転車の似合う街づくりを掲げる静岡市。自転車は健康、環境、観光に役立つ移動手段です。自転車走行空間(専用レーン・矢羽根等)の整備は計画目標の56%で232キロ、政令市NO.1、自転車事故も減少しました。さらに「危険な場所がある」との市民の提案から、安倍川にかかる弥勒橋に専用レーンの設置を働きかけ実現しました。

実践3

気候非常事態宣言。
世界の動きにつながる活動も議会で推進。



気候変動による暮らしへの影響が誰の目にも明らかになってきました。未来の世界を憂い、行動を起こした若者たちと一緒にいち早く気候非常事態の宣言を議会で働きかけました。一日も早い脱炭素社会の実現に向け多くの市民の皆さんとともに活動を続けます。

実践4

With コロナ。
市民の声を伝え支援策を引き出しました。



市民の皆さんと一緒に声をあげ、ウイルス検査のための機器の導入、介護施設314施設へのBCPやPCR実施調査を行うなど検査体制の充実に力を注ぎました。また身近な商店街・商業者の皆さんからの要望を議会質問し、いくつもの支援策導入に貢献できました。感染クラスターの続発に感染予防策の徹底と情報提供の強化を求めました。

実践5

清水新市庁舎建設は事実上の白紙へ!
市民の声を届けました。



「清水庁舎建設の是非を問う住民投票条例制定」署名運動に参加し、集まった5万2千人の条例制定の声を市議会に訴えましたが、議会は36対8で否決しました。ところが田辺市長はこの民意に押されてコロナ感染対策と桜ヶ丘病院移転を理由に、94億円の清水庁舎の清水駅東口公園への移転事業を事実上の白紙撤回としました。これからも市民の声が届く議会を作ります。

実践6

南アルプスにリニア中央新幹線トンネルは認められない!



市民の財産、そしてユネスコエコパークにも選ばれた貴重な南アルプスの自然。その自然に大きな影響を与える「リニア新幹線のトンネル工事」には反対です。市議会でも「南アルプスの自然生態系の維持、360万㎡の残土処理、大井川の水問題」を継続的に取り上げています。

行政の動きに対しては、よく観察し、よく調査し、よく市民の声を聞き、間違いはとことん指摘し、修正を迫っていく。市民に対しては、よく足を運び、よく耳を傾け、よく議論をし、行政に提案していく。彼は、決してぶれない。実際、彼の行動によって実現したこと、白紙撤回された事業もある。いくら煙たがられようが、全く姿勢を変えない。市民のことに地球のことを第一に考える。こんな政治家は滅多にいない。

まつや清は、闘いつづける。
まつや清は、あきらめない。





まつや清は、学びつづける。
まつや清は、とまらない。

彼の凄さは、つづける意志の強さにあると思う。マラソンにしても、街頭演説にしても、大道芸のボランティアにしても。そして、つづけると言えば、学ぶ姿勢も素晴らしい。ますます複雑化、高度化、デジタル化する社会にあって、彼の知識吸収欲求は、実に貪欲である。解らないことは、教えて！と素直に言える姿勢も素晴らしい。「誰もが住みたい」と願う静岡市の実現のために時間を割き、身を削る。こんな政治家は滅多にいない。

1 新型コロナウイルスへ対応したまちづくり

「集中」から「分散」へ、グローバルからローカルな経済・社会システムが求められます。「いつでも、誰でも、何度でも」、特に医療、介護、学校などエッセンシャルワーカーへの検査体制の強化を進めます。市民の安心のため、保健所、医療現場の質・量を充実させます。感染者への差別・偏見・迫害をなくするための活動を推進します。



2 コロナ禍、地震・自然災害にもしなやかに対応できるまちづくり

地震対策だけでなく、気候危機による自然災害の強大化、コロナ対策も含めた「国際基準・スファイア原則」に基づく防災計画を推進します。巴川周辺の住民とともに流域治水対策、治水機能と自然環境を併せ持つ「ペーテル」思想・SDGsを活かす麻機遊水地ランドデザインの具体化を図ります。



3 気候非常事態に備える政策を推進しエネルギーの地産地消

「2050年温室効果ガス実質ゼロ」「2030年55%削減」に向けグリーンリカバリーのまちを目指し、若者、市民と議会・行政が協働する気候市民会議設立を働きかけます。太陽光発電可能性量の4分の1の静岡、市民エネルギー発電を媒介に再生可能エネルギーの拡大に取り組みます。



4 環境に優しいまちづくり、歩いて楽しいまちづくり

高齢者や生活弱者などバス利用拡大に向けた財政支援など公共交通機関を充実させます。バス、鉄道、タクシーなどスマートホンを活用した移動における公共サービス(MaaS)の推進とシェアサイクル拠点を拡大します。江川町交差点のスクランブル化など街中心部のマイカー流入抑制策を検討します。



5 コモン(共)の分野を拡大し市民の協同社会を実現します!

水や土壌、大気など自然環境や電力・交通機関、教育・医療は私たちのコモンズ(社会的共通財産)です。GAF A、多国籍企業等の行き過ぎた利潤追求、競争主義、過剰な消費の対象とすることなく、公的に運営される必要があります。静岡市の水道の公営化を維持・強化します。



6 討論する議会、全国NO.1の議会改革を進めます!

二元代表制の一翼である議会は「市民の広場」であり「唯一の議決機関」です。原発・リニア・気候・平和をテーマに分権・自治・分散型社会の担い手である自治体議員の県内・全国のネットワークを強化し、市民が主体となるまちづくりを目指します。

